

## 令和5年度 第4回八尾市自殺対策計画審議会 議事概要

1 日時：令和6年2月6日（火） 午後3時30分～午後5時00分

2 場所：八尾市保健所2階 大会議室

3 出席委員

委員17名中11名出席

4 議事

1) 八尾市自殺対策推進計画（第2次）素案に対するパブリックコメントの結果報告について

・資料1に沿って事務局より説明

2) 八尾市自殺対策推進計画（第2次）案の最終確認について

・資料2.3.4に沿って事務局より説明

3) その他

◆会長

パブリックコメントについて、委員の皆様よりご意見頂きたい。

◆全委員

意見ありません。

◆会長

了解ということよろしいでしょうか。

◆全委員

はい。

◆会長

では、議事2の八尾市自殺対策推進計画（第2次）案について、委員の皆様よりご意見頂きたい。

◆医療関係者

資料3の3ページの5行目、「様々な問題が悪化したこと等により、総数は11年ぶりに前年を上回りました。」と記載されているが、「～ぶり」という表現について違和感がある。「～ぶり」とは、

期待を込めた言い方ではないかと感じるが、その点について事務局のご意見を伺いたい。

◆事務局

ご指摘があった通り、「～ぶり」の表現については、事務局で検討したい。

◆会長

表現の仕方について、何かご推奨があればお伺いしたい。

◆医療関係者

「総数は前年を上回りました。」と記載してはどうか。

◆会長

はい。委員のご指摘について、事務局で検討して頂きたい。

他に委員の皆様からご意見があればお願いしたい。

◆その他市長が適当と認める者

資料3の59ページの相談支援の周知・充実の取り組みについて、前回の審議会で、高齢者に対する支援があれば良いのではないかという意見があったと思うが、それは反映されていないのか。

また、女性に対する支援の中身と、男性に対する支援の中身が似ているように感じる。男性が仕事等の悩みが多いのは理解できるが、34ページの「日常の悩みやストレスを相談しているか」という市民アンケートの結果によると、男性と女性の間には大きな差があり、男性は日常生活で相談できていないことが分かるため、男性が相談できる場所を増やす等、男性が相談できる仕組みがあれば良いのではないかと思う。

◆会長

事務局からご意見お願いしたい。

◆事務局

高齢者に対する支援について、前回の審議会でご指摘頂いたため、59ページの②相談窓口の充実のところ、「介護や貧困、ひきこもり等」と記載し、高齢者への支援も含めた形としている。

また、男性に対する支援について、男性の方がなかなか相談しにくい現状があるため、相談窓口の周知を行っていきたいと考えている。

◆会長

他にご意見があればお願いしたい。

◆住民代表者

資料3の18ページに学校関係者を対象とする「自殺予防教室」や、子どもに対しての研修等を行っている」と記載されているが、そこではアンケート等を実施しているのか。アンケートの結果がその

後の研修に反映されているのかも伺いたい。

◆事務局

学校の関係者の方に対する研修等について、参加者にアンケートを回答して頂いている。次の研修で活かすような形でのアンケートを実施しており、先生方からは現場でのご意見やご要望等も頂いている。アンケートの内容を踏まえながら、今後の研修についての検討を進めている。

◆会長

他にご意見あればお願いしたい。

◆住民代表者

資料2・資料4について、それぞれの資料はどのように周知・利用していく予定なのか。

◆事務局

資料2~4について、ホームページ等で掲載する予定であるが、この推進計画を全て見て頂くのはなかなか難しいと思うため、資料2の概要版を使いながら、様々な研修会等の機会を活用し、周知していきたいと考えている。

◆会長

他にご意見あればお願いしたい。

◆全委員

意見なし。

◆会長

先ほど委員からご指摘があった通り、59ページの取り組みについて、高齢者への支援が含まれていると読み取ることは難しいと感じる。「介護や貧困、ひきこもり等の複雑・複合化した」という形で記載しているが、そうすると高齢者が抱えている課題は複雑・複合化したものというように読み取られかねないのではないかと。

◆その他市長が適当と認める者委員

高齢者の方は、配偶者が亡くなったり、お友達が亡くなったり、仕事や役割が無くなる等、様々な悩み・喪失感を持っておられるため、そういったところへの支援が必要だと思う。

◆会長

はい。次に気になった点について、59ページの④女性に対する支援、⑤男性に対する支援のところであるが、抽象的な表現にはなるものの、ジェンダーの特性に対する支援という形で、ジェンダーの問題に対応した、その特性を踏まえた支援を行うという形でまとめてはどうか。

また、「介護や貧困、ひきこもり等の」と記載しているが、「孤立」等と表現し、高齢者も含めてい

ることを示してはどうか。事務局からご意見をお願いしたい。

◆事務局

はい。ご指摘頂いた通り、ジェンダーの特性に対する支援や高齢者の支援について、その内容や表現方法について再度検討していきたい。

◆会長

資料3の48ページの⑤について、「新型コロナ等の環境の変化」と記載されているが、「新型コロナの流行等に伴う環境の変化」と表現してはどうか。新型コロナ以外にも、この時期はウクライナの戦争があり、社会の環境の変化が起こっている。「新型コロナの流行等に伴う環境の変化」という形で、背景要因としての新型コロナであることを分かりやすくしてはどうか。

◆医療関係者

公文書や法的な文章では、「新型コロナ等」ではなく、「新型コロナウイルス感染症」という表現が正しいのではないか。

また、58ページの現状のところ、「20歳未満の自殺が発生しています。」と記載しているが、他の年代では増加傾向にある等、具体的に記載している。20歳未満の自殺については、こういった状況にあるのか具体的に表現することは出来ないのか。

◆会長

「発生しています」という文章については、事務局としては、個別事例が推認されるということ avoidance という意味があるのか。

◆事務局

はい。「20歳未満の自殺の方が発生しています」という文章については、個別事例が推認されるという事情でそういった表現にしている。

また、「新型コロナ」という言葉については、資料3の3ページの上から3行目に、「新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナという）」と定義づけをした上で記載している。

◆会長

頂いたご意見については、皆様からご承認頂けるのであれば、最後に会長・副会長とも相談して整理を行い、皆様へ報告させて頂きたいと考えている。

次に、今年度最後の審議会であるため、今まで会議に参加してお考えになられたことや、ご意見等について、皆様から一言ずつお願いしたい。

自殺対策の基本は、自殺というものに対して、直接的に取り組むというより、その背景要因へ取り組み、結果として自殺予防へつながることや、また、遺族の方への理解、地域で亡くなった方の尊厳を大事にしていくことであると思う。

◆医療関係者

様々な資料や計画を作成して頂き、ありがとうございます。基本理念として、誰も自殺に追い込まれることのないまち“やお”を掲げているため、いかにこの計画を実施していくかということが重要であると思います。よろしくお願いいたします。

◆医療関係者

資料の作成、ありがとうございます。薬剤師としては、オーバードーズの問題が心配である。特に学校の先生から、オーバードーズに対してお話をしたいと薬剤師へ要請があるため、今後も生徒や学生へお話ししていきたいと考えている。

◆住民代表者

支援者自身がしんどくなった時に相談できる場所がある等、支援者への支援が非常に重要であると考えている。

また、ゲートキーパー養成講座の内容を検討しているとのことであるが、前回の審議会で委員から大阪府での職域でのゲートキーパーの研修を行っているというお話があったように、民間の企業へ研修を行う等、公的なところ以外への取り組みも必要であると思う。

◆住民代表者

地域との連携について、民生委員がその役割を果たしていると思うが、独居の方が多く、民生委員が見守りに伺っても、なかなか鍵を開けてもらえない、お会いすることができないという現状がある。マンションへ転居された独居の方のところへ訪問すると、オートロックであり、お会いできないことがあった。また、一軒家の自宅へ訪問したところ、「民生委員の方にうろうろされたら困ります。」と言われたこともあった。資料3の40ページに「誰に相談するか」という質問に対して、「民生委員」という回答があるが、私たちが活動していく上で、少しでも回答者の割合が増えれば、これからの活動の支えになると思う。

◆住民代表者

審議会に参加して自分が思うことを話し、資料にも反映され、このような協議の場に参加できるとだけでも良い経験だと思っている。

先ほど支援者への支援というお話があったが、このパブリックコメントの中でも、先生方が多忙だと書かれている通り、どこの相談先も忙しそうだなと見た時に、相談するのを諦めようかとか思ってしまうと感じる。そのため、支援員への支援については、きちんとフォローできるような体制が無ければ、支援者の方も相談へ行こうとしても諦めてしまうことがあると思う。

また、私は年末から年始に向けて、地域で開催されているサロンへ行ったが、そこには高齢者の方や、若い年代の方、親子等、様々な方がおられた。そういうところで、ゲートキーパー養成講座まではいかなくても、こんなものがあるよっていうことを知ってもらうことが大事であると思う。日々の相談をできる人がいれば、孤立まで至らないと感じており、人と人とのつながりが大事であると思う。

#### ◆住民代表者

アンケートを読みながら、自殺については多岐にわたる問題が背景にあるため、様々な機関や人が連携しながら取り組んでいくことが重要だと感じた。

先ほど委員からご意見があった通り、教育現場では先生方が大変忙しく、なかなか細かいところまで手が回らない状況であり、若い先生方も一生懸命なあまりに、体調を崩して、休職が必要となり、70歳代の一旦退職した先生方が、担任を持たなければならぬ状況だと聞いている。

アンケートを見ると、高齢者の方のほうが、様々な悩みがあり、自殺を考えたことがあると回答されている。子どもたちの将来を考えると、今の段階からしっかりサポートしたり、命の大切さを子ども自身にも分かってもらったり、精神的なところで支えていくことが重要であると思う。そして、学校の先生方だけで問題を抱えるのではなく、スクールカウンセラーにも引き続き関わって頂くことが必要だと思っている。子ども達には、切羽詰って相談するのではなく、普段から雑談できるような存在が身近にいるということを知ってもらえたらと感じている。

#### ◆関係行政機関の職員

労働基準監督署へ精神疾患で労災請求される数は、ここ最近非常に増えている。その中でも、セクハラ、パワハラが増えている。その問題について、労働基準監督署では経営者側へ対策するように指導しているが、その声がなかなか従業員や労働者本人のところには届かない現状がある。

また、経営者側へ伝えたものの、そもそもこういった話を聞いてもらえないということがある。今回の計画は、労働者の方が簡単に相談できる体制を実施して頂けるような取り組みだと思うため、こういった相談体制があるということ、八尾市の企業の従業員の方へ周知して頂きたいと思う。

#### ◆関係行政機関の職員

この計画は地域に身近な方々が議論を重ねた上で作られた計画であるため、住民の方にも十分受け入れられるような計画であると感じている。

概要版にも記載されている通り、「自殺対策の考え方と支援」が計画の中に組み込まれている点も非常に良いと思う。

こころの健康総合センターでは、警察庁統計の処理を行い、市町村へその結果をお伝えしている。自殺の原因・動機についての統計はあるが、先ほど会長がお話されていた通り、亡くなられた方の背景をしっかりと見ていく必要があると思う。

亡くなられた方が生前どのような生活をされていたのかについて、データを分析する機会があり、その結果からは、生きることの阻害要因をいくつか抱えておられていたことが分かった。しかし、生きることの促進要因が全くなかった方はほとんどおられなかった。例えば、身近なご家族が心配をされていたり、独居の方でも、支援者が毎日訪問して支援していたり、福祉サービスや医療のサービスを利用されていたり、その他にも生活保護や介護保険の制度を申請・利用し、サービスを受けていた方が多くおられた。それらは生きることの促進要因になると思うが、それ以上の阻害要因によって、ご本人がしんどい思いをされていた状況があったのではないかと感じており、促進要因を強化するための取り組みが非常に重要だと考えている。

分析からは、身近な方でご本人を気にかけておられた方が多かったため、八尾市で力を入れていくゲートキーパー養成講座により、理解がある方や声かけができる方を増やしていったり、ご家族ある

いは支援者が1人で抱え込まないようにフォローしていく等の支援者への支援を行ったりすることが、今後必要ではないかと思う。

そして、亡くなられた方の背景要因を見ていくためには、相談支援の中で、相談者のお話をしっかり聞いていくところから始めていく必要がある、すべてがこの計画に繋がっていくことであると感じている。自殺予防のプロセス図で示されている考え方と視点については、概要版や計画にも記載されており、こういった理解が住民の方々に浸透していくことで、今後の地域の変化が期待できると感じている。

#### ◆その他市長が適当と認める者

この計画を今後どのように活かしていくかを考える必要がある。特別なことをするのではなく、日常の中で、ネットワークや人間関係をいかに作っていくかということが重要ではないか。

現在はSNS等のつながりはあったとしても、匿名のつながりであるため、それが非常に難しい現状である。世の中では、有名人の自殺に関するニュースのみを取り上げ、各記事のあとに自殺の相談窓口を記載しているが、そういったことではなく、日常的にどのように活かしていくかを考える必要がある。私は職業柄そういった場面に出会ったこともあるため、弁護士の業界でも、ゲートキーパー養成研修が必要であると改めて感じた。

#### ◆その他市長が適当と認める者委員

昨年、素晴らしいゲートキーパー養成テキストができたため、皆様の目につくようにゲートキーパー養成講座を多く実施して頂きたいと思う。高齢者の分野では、認知症のサポーター養成講座を毎年30回以上実施しており、1000人以上のサポーターが育成されているように、自殺に対する間違った認識の方が少しでも減るように、ゲートキーパー養成講座を今年も実施して頂きたいと思う。

#### ◆会長

第1次の計画については、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な意味で、対策の進捗が妨げられたと思う。その一方で、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、取り組まれたものもあり、総合的に見ると様々な困難があったことを察するため、この時期の計画は非常に大事なものになると思う。

#### ◆学識経験者

このような充実した計画ができ、それを八尾市はどのような方々と共有していくのが良いのだろうかと改めて感じながら話を聞いていた。今日ご参加されている委員の皆様、様々な関係者の皆様、計画には記載されていないが、この計画を共有することで、力になってくださる方々もおられると思うが、その方々と共有するために、この資料を活用していく機会が多く設けられたら良いと思う。

もし、資料2の概要版しか見ない方がおられた場合、そこからホームページを辿れば、この計画も見られるという情報もあっても良いのではないかと。また、民間団体の中には自治体を超えて活動されている民間団体の方々もおられるため、そういった方々にも八尾市がこのようなことを考えているというメッセージが、いずれ届いていくことになれば良いなと思っている。

◆会長

今後の計画の運用については、委員の皆様からご意見があったと思う。

次に、59 ページの整理の方針について、委員のご意見を伺いたい。

59 ページの②の3 番目に、「介護や貧困、ひきこもり等の複雑・複合化した課題」とあるが、介護や貧困自体が複雑というより、それも関係して複雑になっていくという要因や背景であると思う。

総合的に考えると、②相談窓口の充実の3 番目のところは項目として外へ出した方が良いのではないか。「アウトリーチや重層的な支援体制を整備して包括的な支援を実施します」と記載されているが、②相談窓口の充実の中に記載することは違和感がある。

例えば①～⑥に並列して項目を追加したり、ライフステージやジェンダーがある程度統合したりすることも考えられるが、子ども・若者等のキーワードがあるものを全部まとめると弱まってしまうことも危惧される。行政のプロセスがあると思うため、どのような程度の修正が可能であるのか、事務局からご意見お願いしたい。

◆事務局

59 ページについては、関連事業のこともあるため、②相談窓口の充実の中に記載していたものを新たに外へ出すということは難しいと考えている。

◆会長

1つの方法として、相談窓口を充実というタイトルを少し修正し、重層的な課題を持っている人への対応を入れ、構造自体を変更せずに調整していくということか。

◆事務局

はい。

◆会長

もう1点確認させて顶きたい。例えば、③子ども・若者に対する支援・⑥働く世代に対する支援を合わせた書き方にする等の調整は可能であるか。

◆事務局

先ほどご意見頂いた、④女性に対する支援・⑤男性に対する支援というジェンダーの関係の部分について合わせることは可能であるが、③子ども・若者に対する支援・⑥働く世代に対する支援を合わせることは難しいと考えている。

◆会長

順番の変更は可能であるか。

◆事務局

順番については調整できると考えている。



◆会長

②相談窓口の充実という言葉だけではなく、相談する内容や深さを示すような名称を②に入れてはどうか。また、③「子ども・若者」、④番と⑤番は結合してジェンダーに対応した支援とし、⑥「働く世代」の後に、「高齢者」を追加することはできないのか。

◆事務局

関連事業としてそれぞれ挙げているため、新たに高齢者の枠組みを作ることは難しいと考えている。

◆会長

地域包括支援センターでの相談支援の活動自体が、高齢者の自殺予防につながるものではないかということからみると、その事業に無いというよりは、もうすでに行われているものとして感じるがどうか。

◆その他市長が適当と認める者委員

高齢者の方から死にたいという相談を受けることが多い。高齢者は今までの役割を喪失した、配偶者や子どもが亡くなった等で死にたいという思いを持つ方々が多くおられる。地域包括支援センターでは、そういう方に日々寄り添い支援を行っているため、高齢者への支援を入れた方が良いのではないかと思う。

◆会長

事務局の説明と、その他市長が適当と認める者委員の意見を統合し、ライフステージが読み取れるようなものを、②相談窓口の充実 の中に取り入れて分かりやすくすること、重層的な支援というものに関する記述についても調整することで、事務局と相談したいと考えている。今後については、会長、副会長の方で事務局と相談した上でまとめさせて頂くことでよろしいか。ご信任頂けるか。

◆全委員

はい。

◆会長

次に、議事3「その他」について、事務局からご説明お願いしたい。

◆事務局

今後の予定について、パブリックコメント及び八尾市自殺対策推進計画（第2次）案については、3月に委員会へ報告後、最終的な文言等の校正を行い、3月末には計画及び概要版を審議会委員の皆様へ送付したいと考えている。また、それと同時にホームページにも公開する予定である。

次に、自殺対策強化月間について、ご説明させていただきたい。

毎年3月は自殺対策強化月間である。3月は1年を通して各月の中でも、最も自殺者が多い傾向にあることを踏まえ、全国的に啓発活動が推進されている。3月は特に40代、50代を中心とした中高

年男性の自殺者数が多くなる傾向を踏まえ、厚労省は中高年男性に相談を呼びかけるポスターを作成している。八尾市においても、保健所や市役所、各コミュニティセンター等へこちらのポスター掲示を行い、ホームページ等でも周知を図る予定である。

自殺対策計画審議会委員の皆様には、こちらの自殺対策強化月間について、ご承知おきいただくとともに、周りに悩みを抱える方がおられたら、お声をかけて、お話を聞いていただき、必要であれば、保健所等、支援機関へつないでいただきたい。

#### ◆会長

ご説明ありがとうございます。

今後の対策の推進について、今日いただいたご意見等を大切に進めていかなければいけないと思う。それについては、皆様方にも様々な形でご協力いただくと思うため、よろしく願いいたします。

#### ◆事務局

会長ありがとうございました。

皆様からご意見があった通り、計画を作って終わりではなく、そのことを周知していくことや、それを活用した取り組みが必要であるため、今後進めていきたいと考えている。

また、概要版についてはQRコードを載せる予定であり、そのQRコードからホームページに掲載している自殺対策の計画を見て頂けるような形での対応を考えている。

本日のご意見等を踏まえて、反映できるところを反映しながら、検討も加えて進めていきたいと考えている。委員の皆様におかれましては、長きにわたり、貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございます。最後に保健所長から挨拶がございます。

#### ◆保健所長

どうも長時間、ご議論ありがとうございました。

会長の卓越したご指導、進行管理のもと、4回にわたる委員各位の熱心なご議論も踏まえて、4年弱のコロナ禍の大きな社会環境の変化も踏まえて、一方で八尾市らしさにもこだわりながら、第2次自殺対策推進計画の策定まで携わっていただいたことについて、感謝申し上げたい。

中核市保健所として、心の健康を所管する立場で、第2次計画策定事務局を引き受けさせていただいたが、改めて、この自殺予防対策は、地域社会の総合力が問われる非常に重要な課題であることを痛感している。

特に今回の計画策定は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の負荷が、自殺にどう繋がるのか、またそれをいかにして極小化できるのか、ということ大きな課題として認識していた。今後の動向については、男性や若年者の動向を慎重に見守らないといけないが、かつてのリーマンショックとバブル崩壊の後に、自殺の急増がみられたことに対して、今回はそこまで至っていない状況について、かつて会長に所見を伺った。会長より、これまでに組み立てられた様々な施策によって、一定の防止効果をあげることが出来たのではないかというお話を伺い、そういう意味でも、各市の支援へきちんとつなげると、一定の防止効果が期待されると考えている。

八尾市では、特に重層的支援体制の強化ということで「つなげる支援室」を積極的に運営しており、これは我々が第1次計画で「つなげるカード」、多問題ケースに向き合う仕組みができないかという

ことで議論させていただいたものが、発展的に展開されたため、この活動については今後期待できる  
ところはあると思う。

その一方で今日ご指摘があったように、様々な行政的な窓口に到達できない、ご存じ無い、或いは  
利用しにくいというような現状もお聞きしたため、通常のゲートキーパー養成をさらに発展させ、  
様々な幅広い形での、支援者あるいは見守る人を増やすというような活動が、この計画を起点にして、  
さらに取り組まれないといけないと考えている。そういった意味で、スタート地点に新たに立ったと  
いう思いで、さらにしっかりと取り組んでいきたいと思っているため、引き続きご指導ご鞭撻のほど  
よろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

#### ◆事務局

それでは以上をもちまして、令和5年度第4回八尾市自殺対策計画審議会を閉会いたします。  
本日はどうもありがとうございました。

## 5 閉会